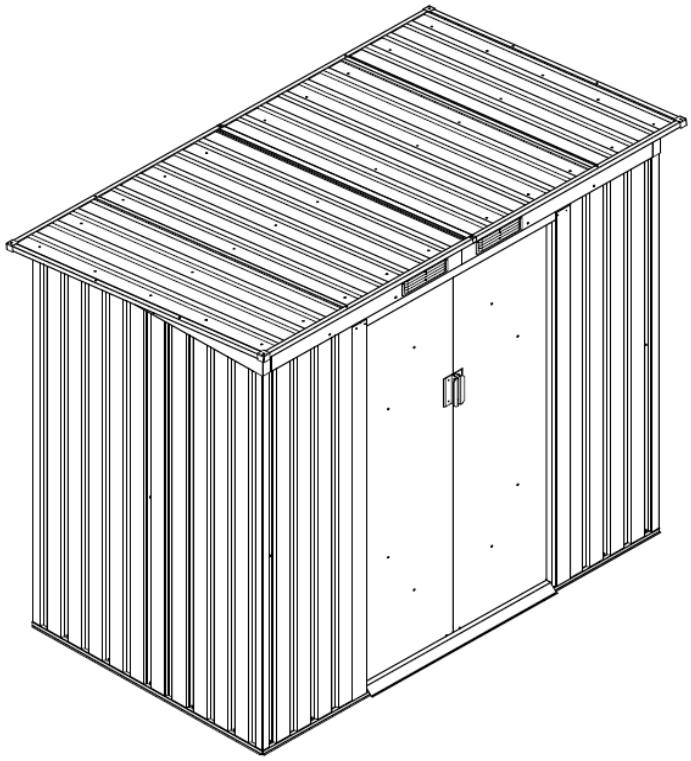
Liebe Co.,Ltd.

品番:12078690-004

品名:メタルシェッド　004　グレー＆ベージュ

取扱説明書



サイズ
間口:1.91m
奥行:1.21m
高さ:1.76m

この度は当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に必ず、この取扱説明書をお読みください。

ご注意事項

安全のために、ご使用の際は下記の点に注意してください。

- 組立の際は、本取扱説明書を熟読し、組み立て方法を十分に理解してから組み立てを開始してください。
- 梱包を丁寧に開封して、部材リストを見ながら材料が揃っているか確認してください。
- アンカーは本商品には含まれておりません。別途購入してください。
- コンクリートで基礎を作る場合、凸型で作成してください。雨水などの浸入を防ぎます。

組み立て上の注意

- 水平な場所で必ず組み立ててください。
- 設置場所として、大きな木の近くは推奨しておりません。落ち葉による定期的なメンテナンスや枝によるパネルの破損などの危険性があります。
- 少しでも風邪のある日は安全のため作業を避けてください。
- パネルなどの部材は、鋭利な部分がありますので、作業時に手袋を着用してください。
- 穴を開ける際は安全のため防護眼鏡を着用してください。
- 安全、動きやすい服装で組立作業をしてください。
- 組立は必ず2人以上で行ってください。

使用上の注意

- 屋根の上は定期的にメンテナンスを行ってください。特に積雪等で屋根に加重がかかると破損の原因になります。
- 扉は使用時以外は閉めてください。風による破損の原因になります。
- ビスやボルトなど定期的に緩みを確認し、必要があれば締めなおしてください。
- パネルのパーツナンバーは水と洗剤で洗い流せます。
- 防水の対策としてシリコンコーキングが可能です。

ご用意いただく用具

手袋

電動ドライバー

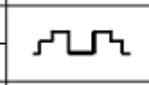
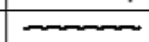
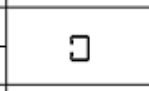
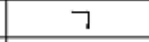
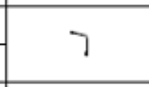
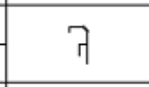
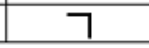
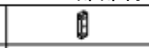
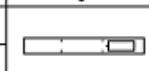
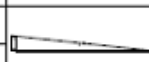
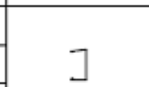
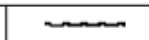
ドリルビット

プラスドライ

脚立

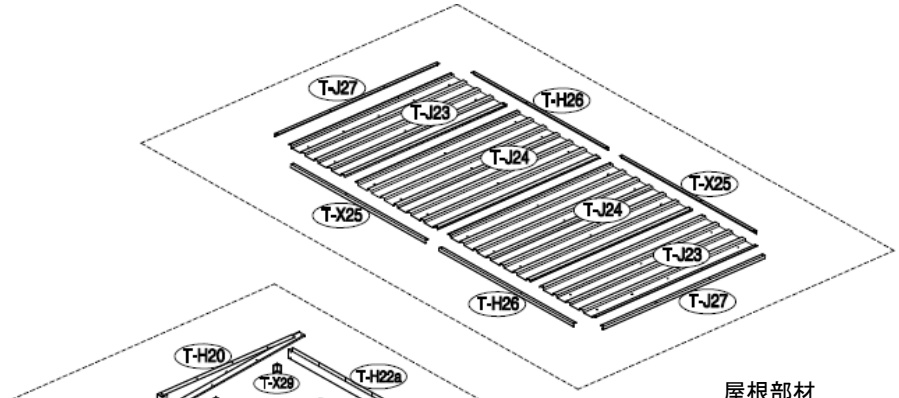
部材リスト

すべて揃っているか必ずチェックしてください。

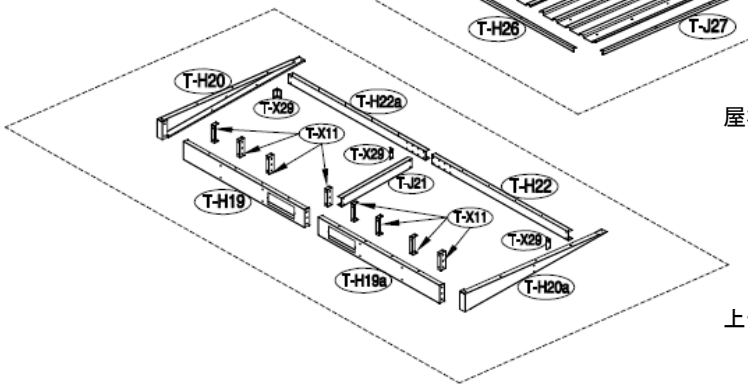
番	商品イメー	サイズ(m	数
基礎部材			
T-A1		1102	x1
T-A2		902	x1
T-C3a		1102	x2
T-A4		560	x1
T-A5		560	x1
T-A6		895	x1
側面部材			
T-A7		1600	x2
T-8		1600	x4
T-14		1600	x3
T-H9		932	x1
T-H10		932	x1
T-J13		1068	x2
T-H12		990	x1
T-H15		1005	x1
T-16		1595	x1
T-17		1595	x1
T-A18		1040	x1
上部部材			
T-X11		116	x8
T-H19		915	x1
T-H19a		915	x1
T-H20		1088	x1
T-H20a		1088	x1
T-J21		530	x1
T-H22		1030	x1
T-H22a		1030	x1
T-X29		56	x3
屋根部材			
T-J23		1230	x2
T-J24		1230	x2
T-X25		1017	x2
T-H26		1017	x2
T-J27		1230	x2

番	商品イメー	サイズ(m	数量
ドア部材			
T-A30		1595	x1
T-A35		1595	x1
T-31		1535	x2
T-A32		836	x4
T-A33		456	x1
T-A34		456	x1
T-A36		456	x1
T-A37		456	x1
部材			
T-P1			x4
T-P2			x4
T-P3			x4
TP5A			x2
T-P6			x2
T-P7		200	x1
T-H40			x128
T-H41		ST4x10	x162
T-H42		ST4x16	x16
T-H43		M4x10	x80
T-H44			x56
D-A1		962	x5
D-A2		432	x2

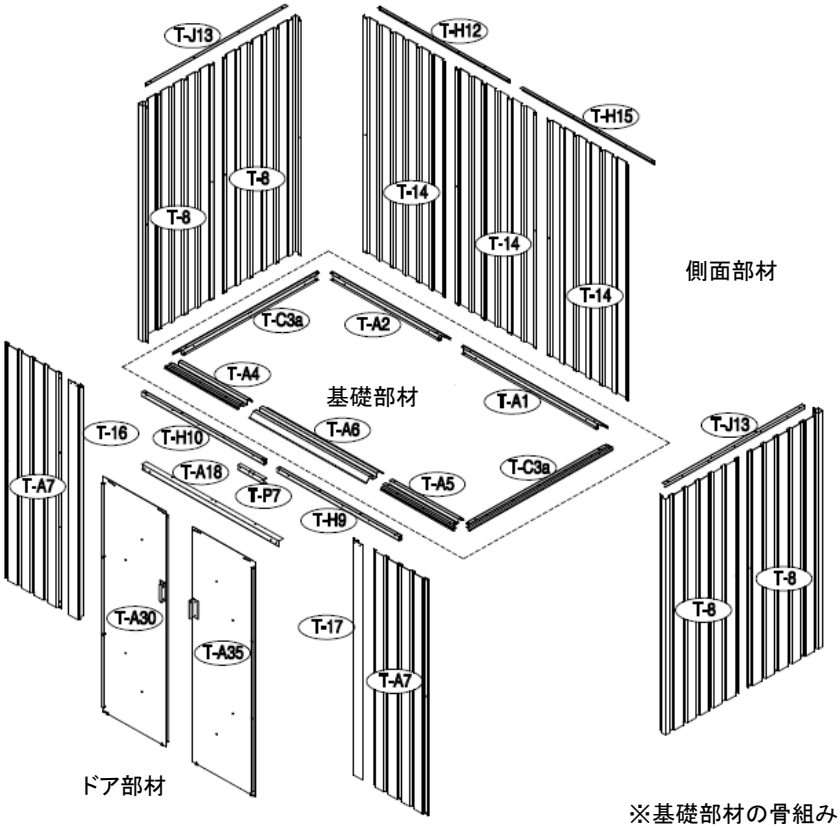
部材図面



屋根部材



上部部材



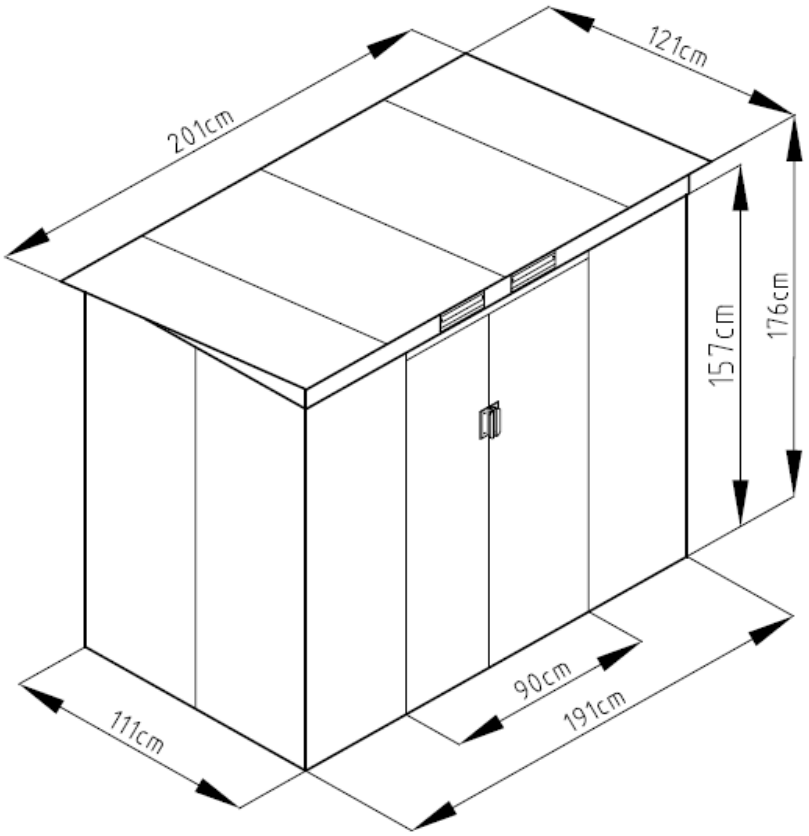
側面部材

ドア部材

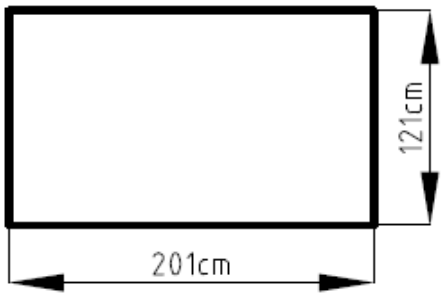
※基礎部材の骨組みは未記載で

完成図面

正面図

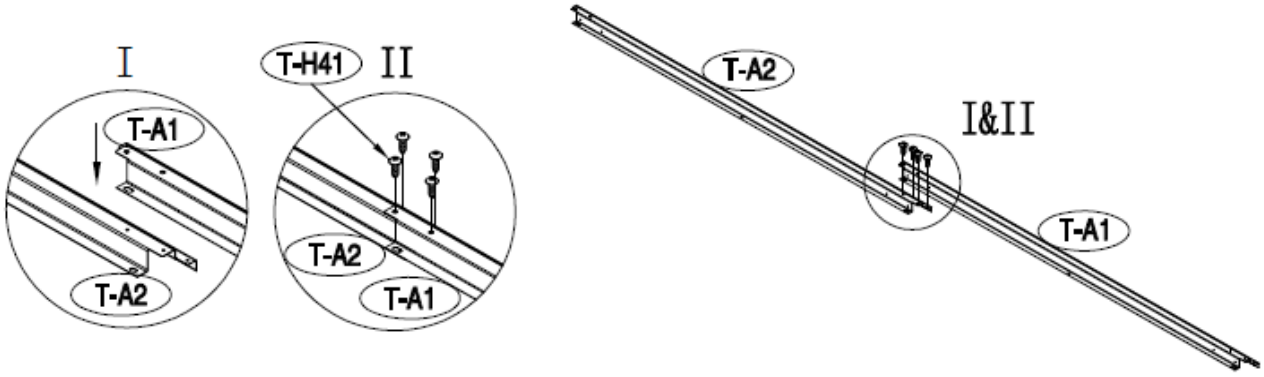


設置必要面積



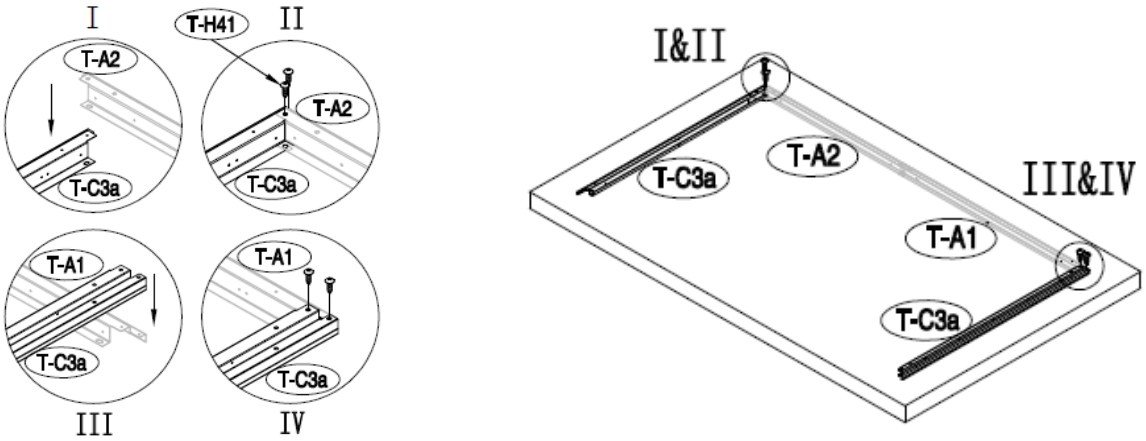
組み立て方法

1



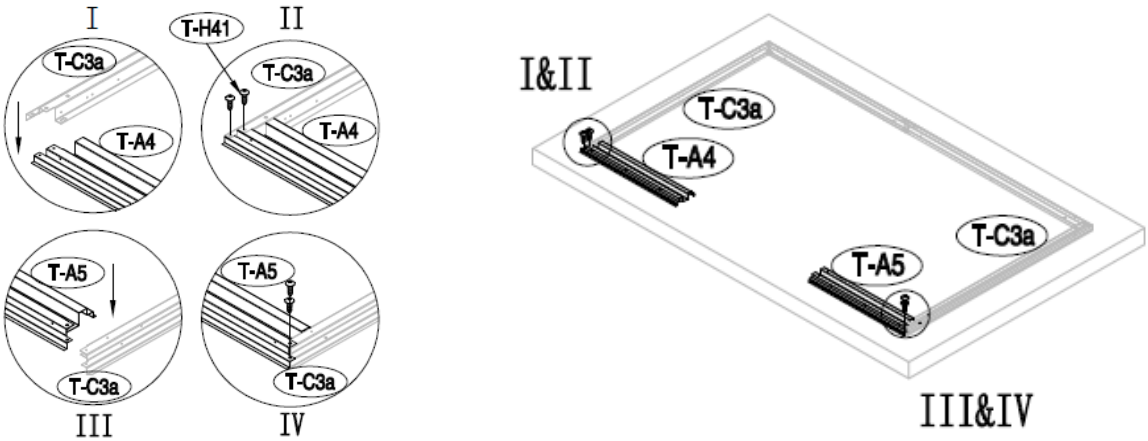
図のように、T-A1とT-A2をT-H41で接続します。

2



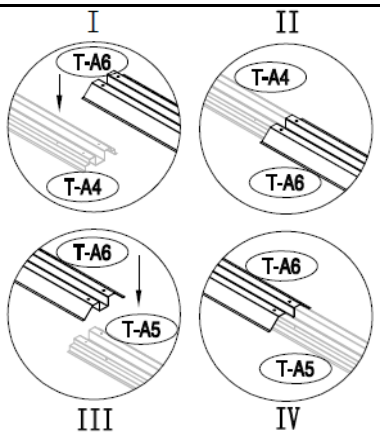
1で作成したものにT-C3a　2本をT-H41で接続します。

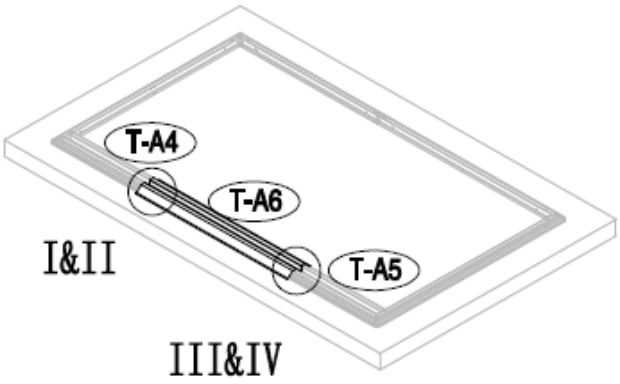
3



2で作成したものにT-A4　T-A5をT-A41で接続します。

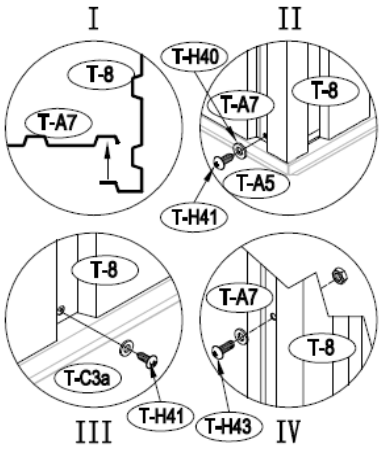
4

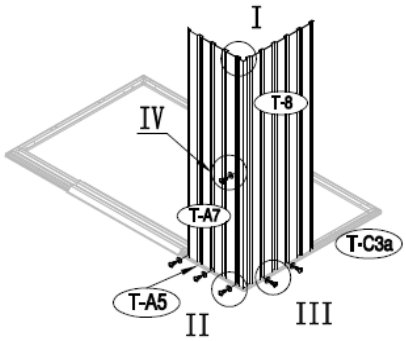




3で作成したものにT-A6を仮置きします。基礎部分の完成です。
※T-A6は手順17で接続します。

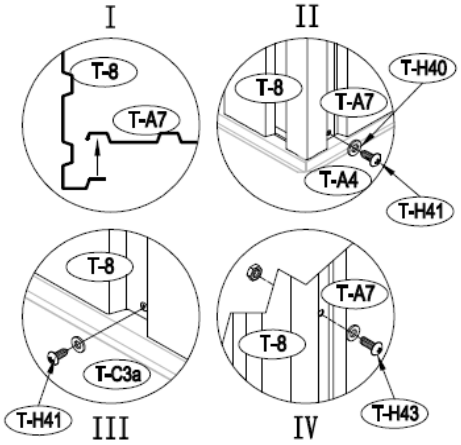
5

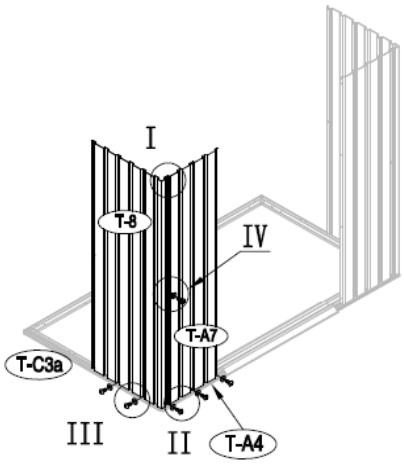




4で作成した基礎にT-A7、T-8をT-H41、T-H40で接続します。またT-A7、T-8をT-H43、T-H40で接続します。接続位置は上記の図Ⅰを確認して接続してください。

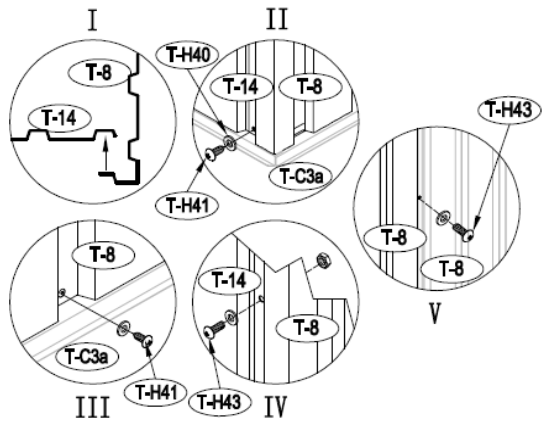
6

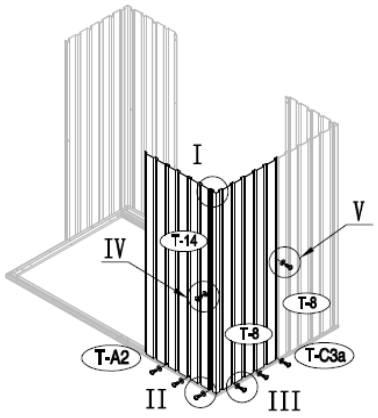




5と同様に基礎の左側にもT-A7、T-8をT-H41、T-H40で接続します。またT-A7、T-8をT-H431、T-H40で接続します。接続位置は上記の図Ⅰを確認して接続してください。

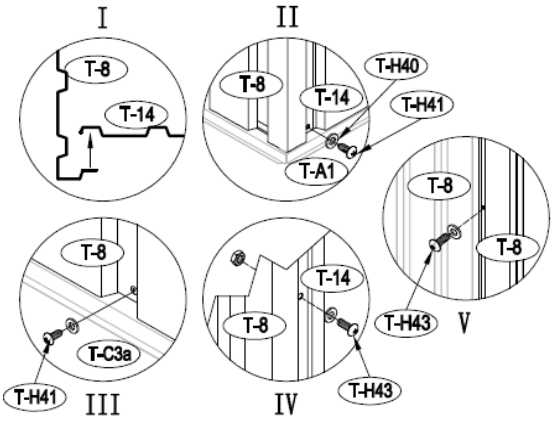
7

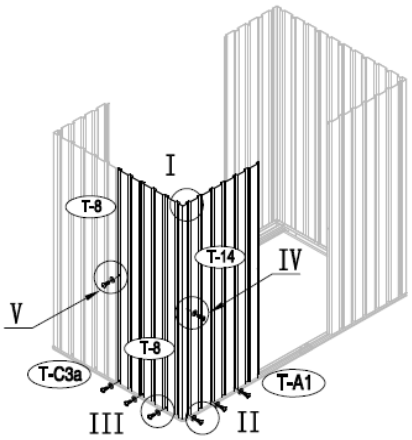




6と同様に基礎の奥側にもT-A7、T-8をT-H41、T-H40で接続します。またT-A7、T-8をT-H431、T-H40で接続します。接続位置は上記の図Ⅰを確認して接続してください。

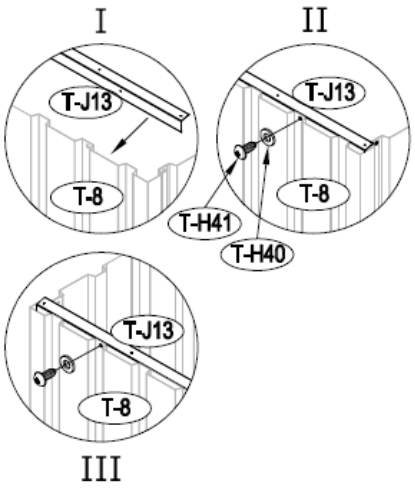
8

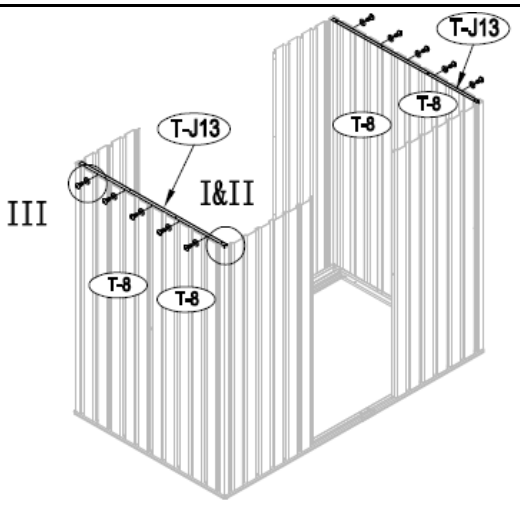




7と同様に残りの角にもT-A7、T-8をT-H41、T-H40で接続します。またT-A7、T-8をT-H431、T-H40で接続します。接続位置は上記の図Ⅰを確認して接続してください。

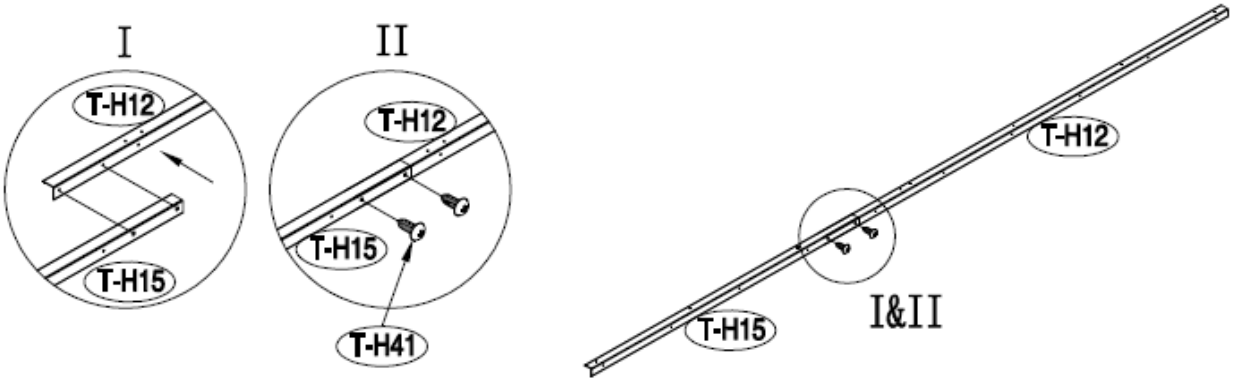
9





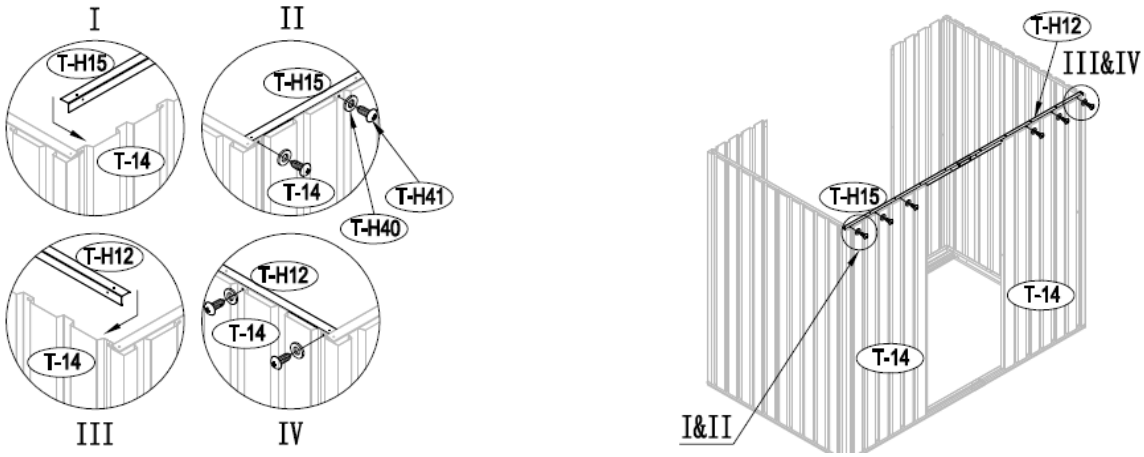
図のように、8で作成したものにT-J13をT-H41、T-H40で接続します。

10



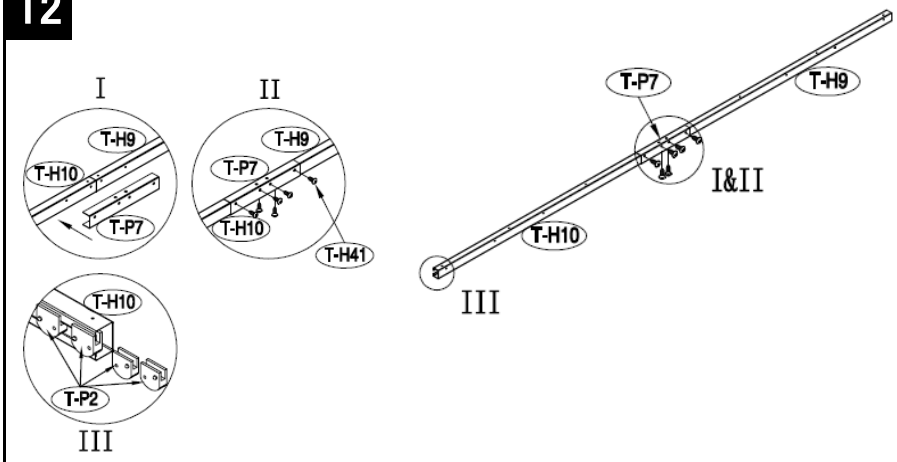
図のように、T-H12、T-H15をT-H41で接続します。

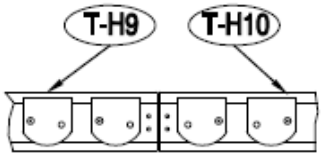
11



図のように、10で作成したものをT-H41、T-H40で接続します。

12



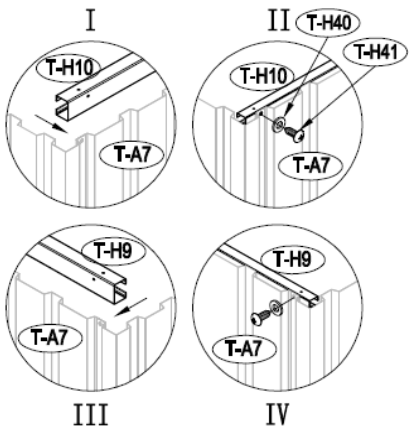


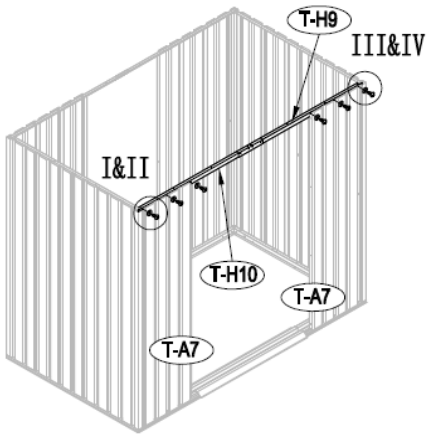
注意！

T-P2の入れ忘れや向きを誤ると修正がかなり大変になります。間違いがな

図のようにT-H9、T-H10にT-P7をつけ、T-H41で接続します。また図Ⅲを参考にT-P2を入れていきます。向き、位置に注意しながらT-P2をいれてください。

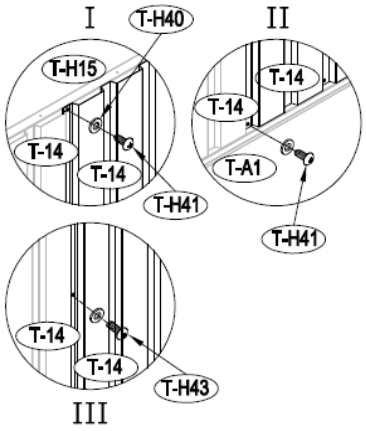
13

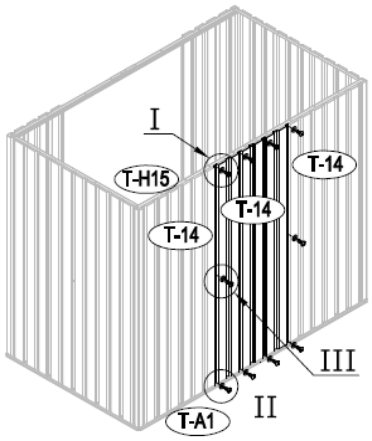




図のように、12で作成したものをT-H41、T-H40で接続します。

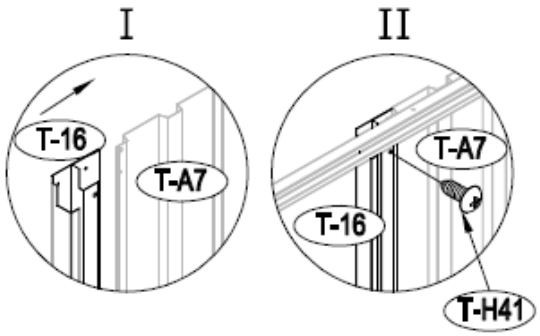
14

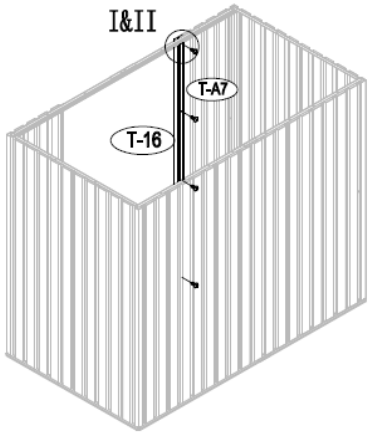




図のようにT-14をT-H41、T-H40とT-H431、T-H40で接続します。

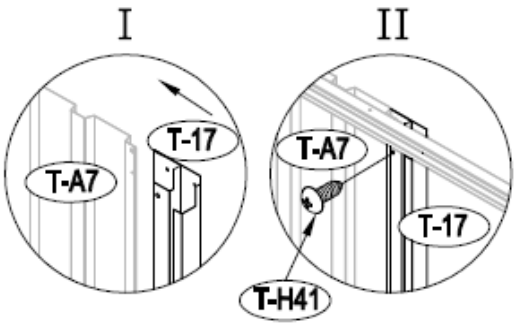
15

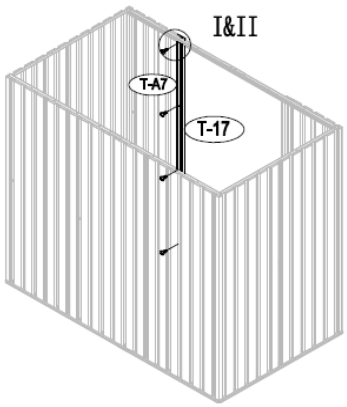




ここから扉部分を作成します。図のようにT-16をT-H41で接続します。

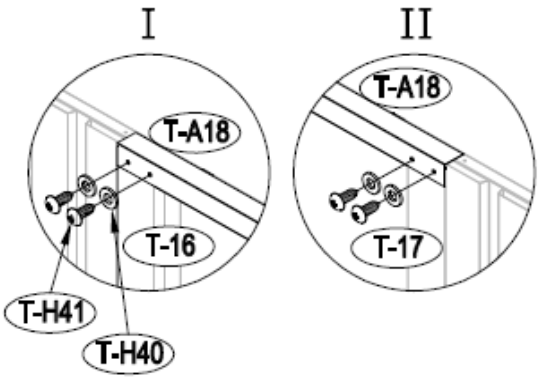
16

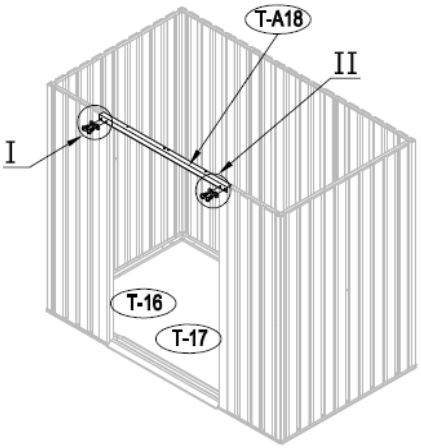




同じように、右側も作成します。図のようにT-17をT-H41で接続します。

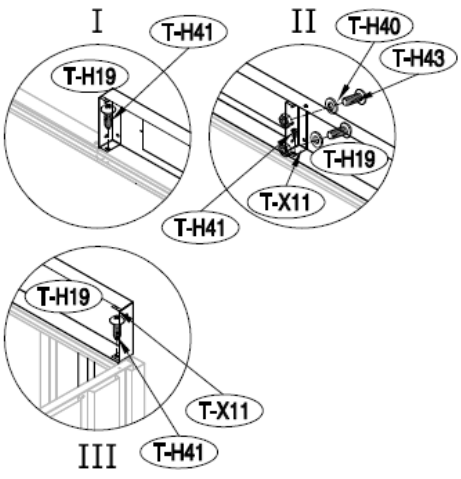
17

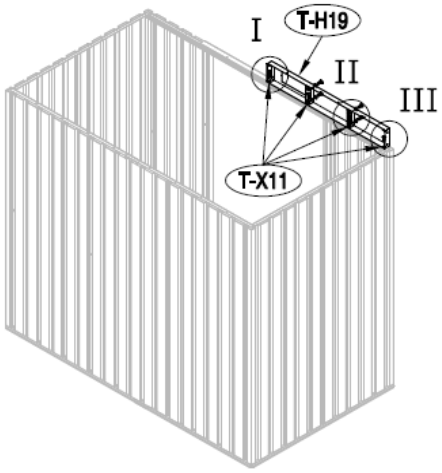




図のように、T-A18をT-H41、T-H40で接続します。

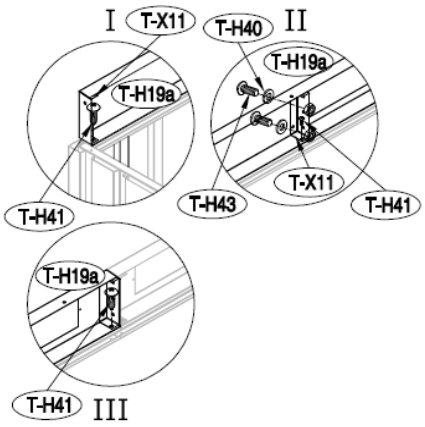
18

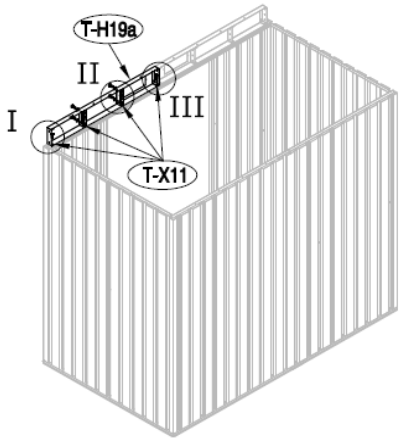




図のように、T-H19をT-H41で接続します。またT-X11をT-H41、T-H40、T-H43で接続します。

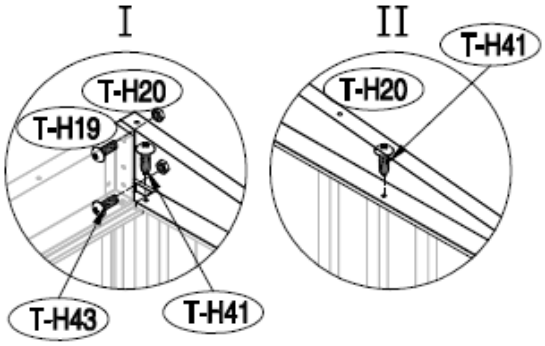
19

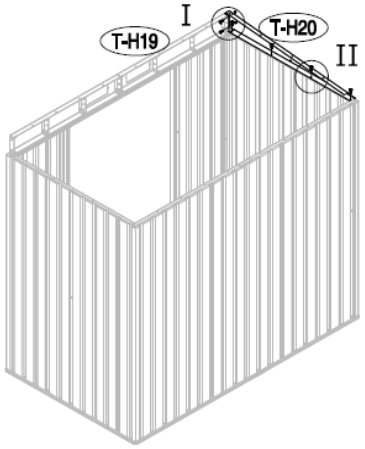




同じように、T-H19をT-H41で接続します。またT-X11をT-H41、T-H40、T-H43で接続します。

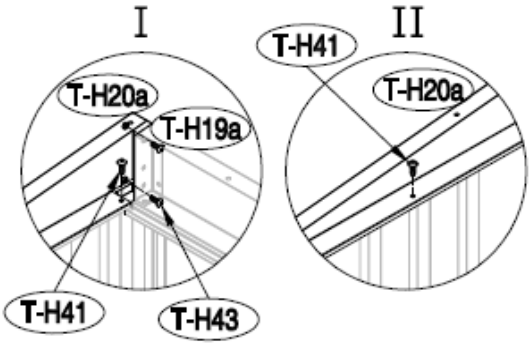
20

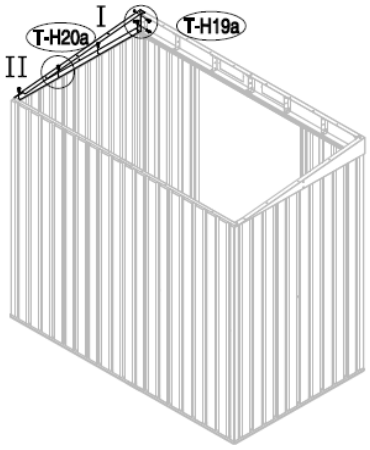




図のように、T-H20をT-H41、T-H43で接続します。

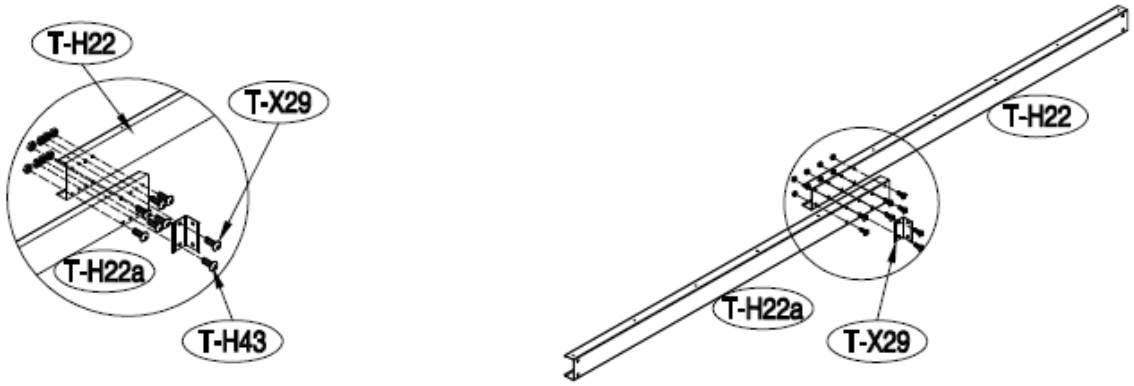
21





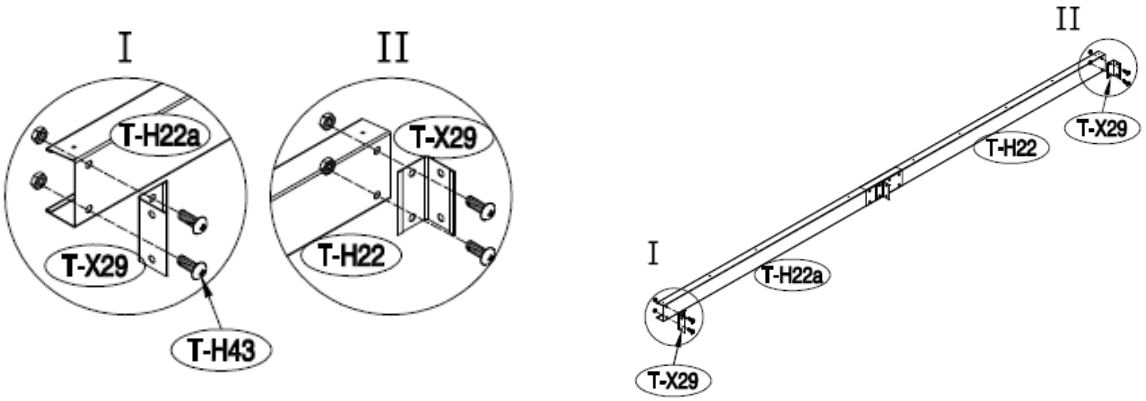
同じように右側にも、図のように、T-H20をT-H41、T-H43で接続します。

22



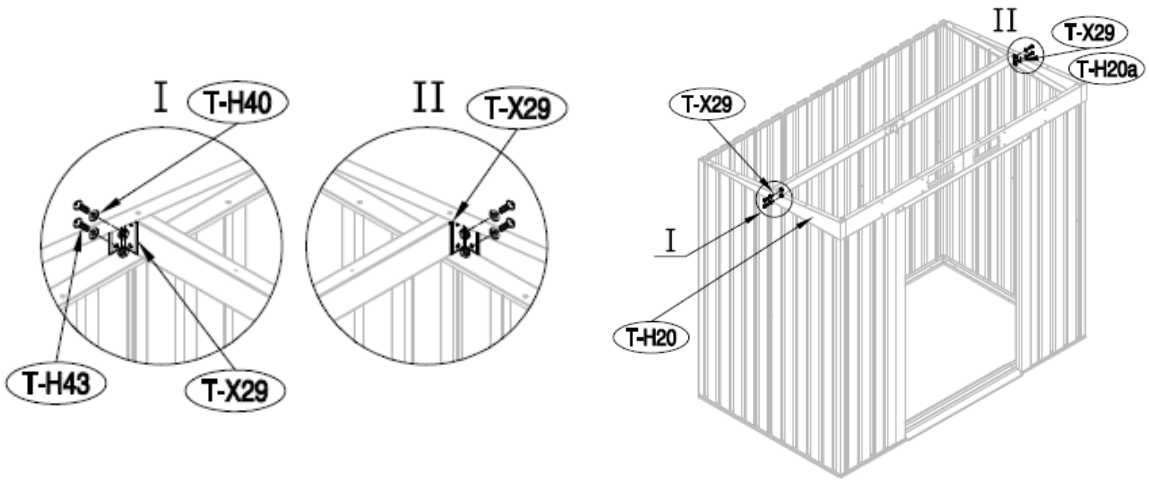
図のように、T-H22　2本をT-X29、T-H43で接続します。

23



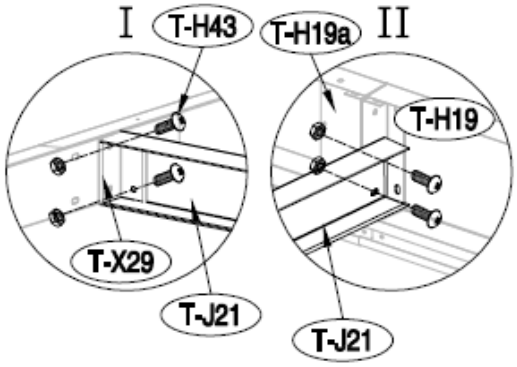
22で作成したものに、図のように、T-X29をT-H43で接続します。

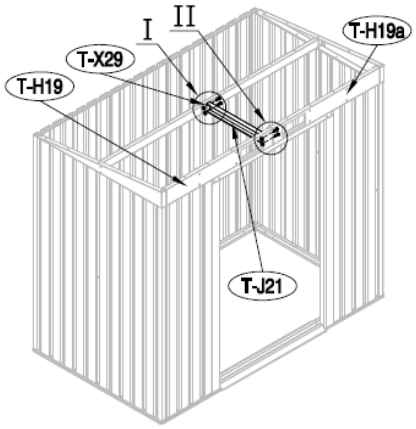
24



23で作成したものを、図のように、T-H43で接続します。

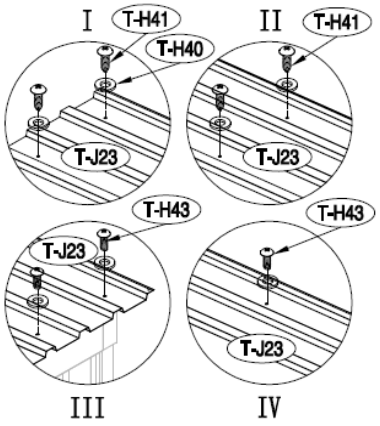
25

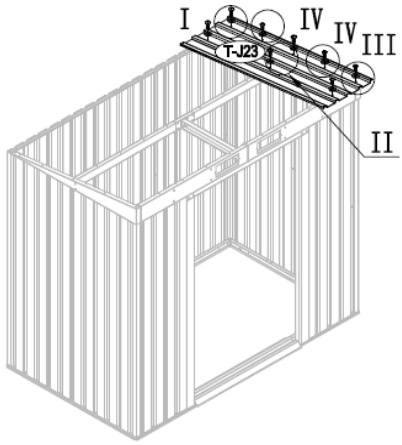




図のように、T-J21をT-H43で接続します。

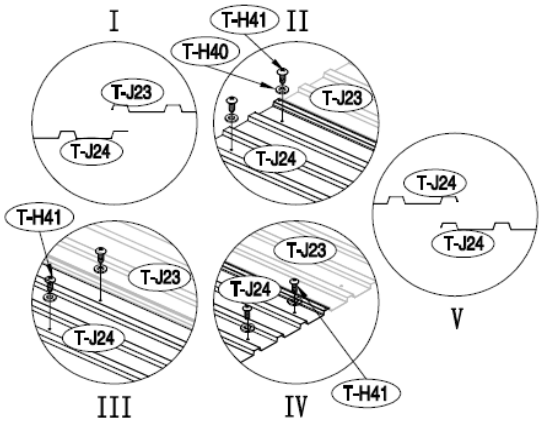
26

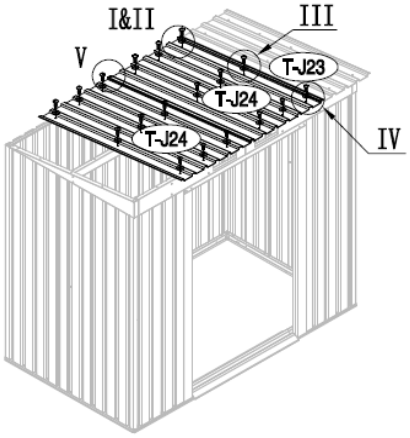




図のように、T-J23をT-H41、T-H40とT-H43、T-H40で接続します。

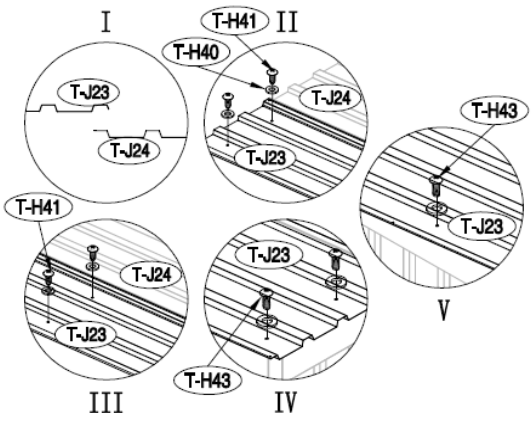
27

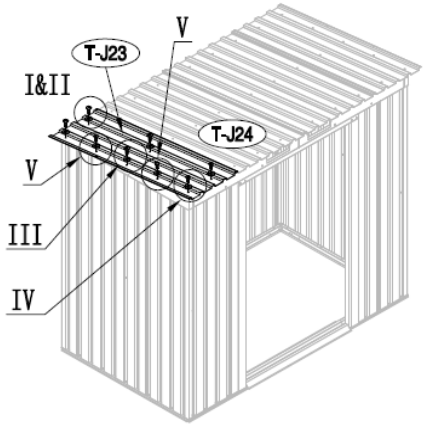




図のように、T-J24をT-H41、T-H40で接続します。
※26のT-J23と接続位置に注意して接続してください。（図Ⅰを参照）

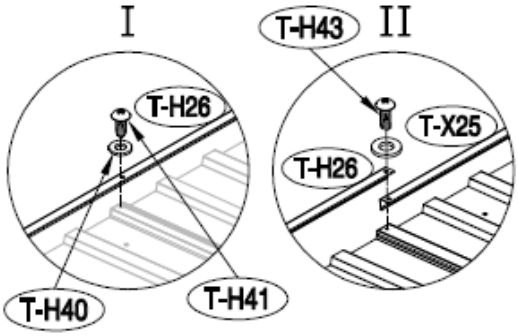
28

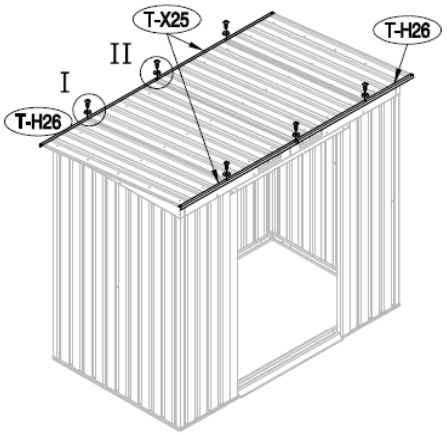




図のように、T-J23をT-H41、T-H40とT-H43、T-H40で接続します。
※27のT-J24と接続位置に注意して接続してください。（図Ⅰを参照）

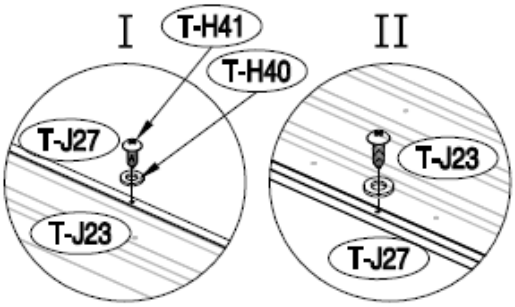
29

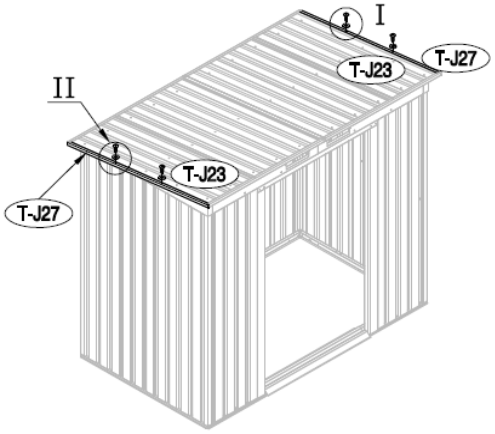




図のように、T-H26をT-H41、T-H40で接続します。また、T-X25をT-H43、T-H40で接続します。

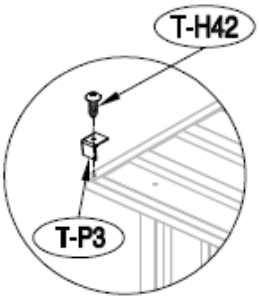
30

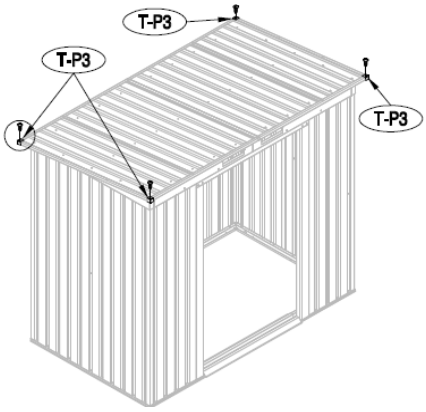




図のように、T-J27をT-H41、T-H40で接続します。

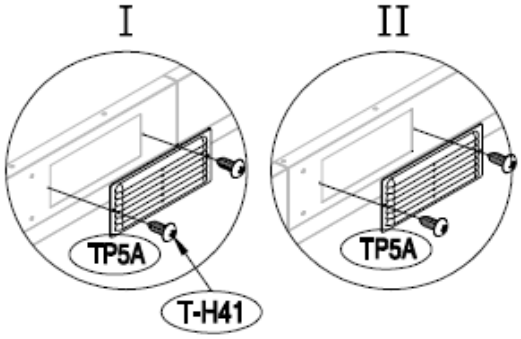
31

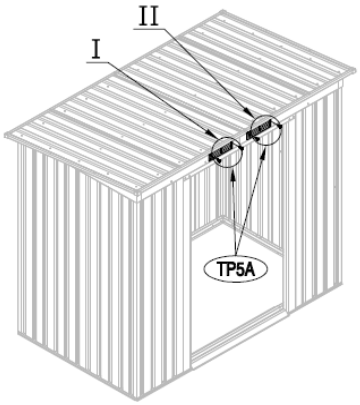




図のように、T-P3を屋根の隅4箇所にT-H42で接続してください。

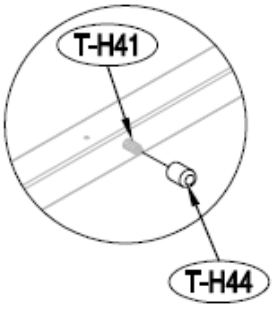
32

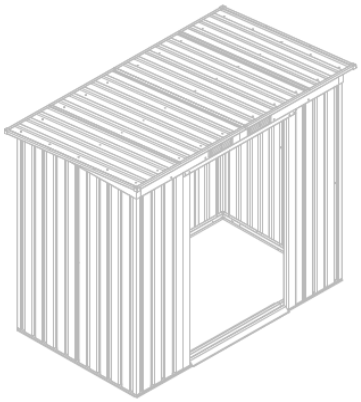




図のように、TP5AをT-H41で接続してください。

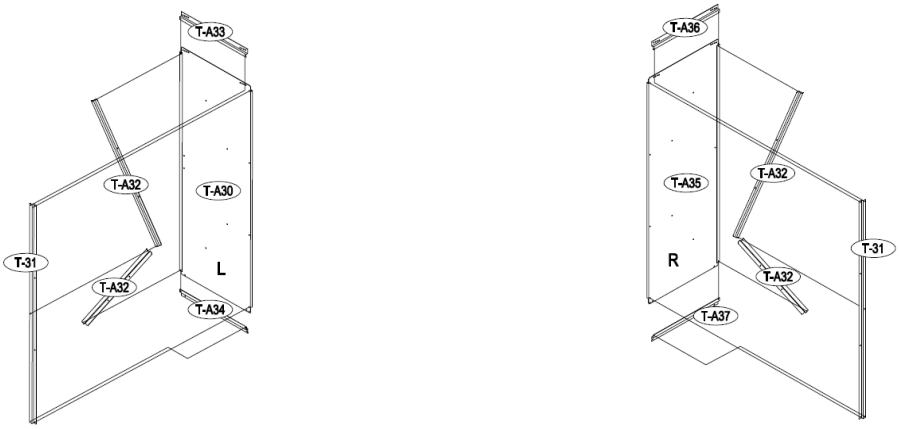
33





T-H41のビス部分にT-H44を設置してください。

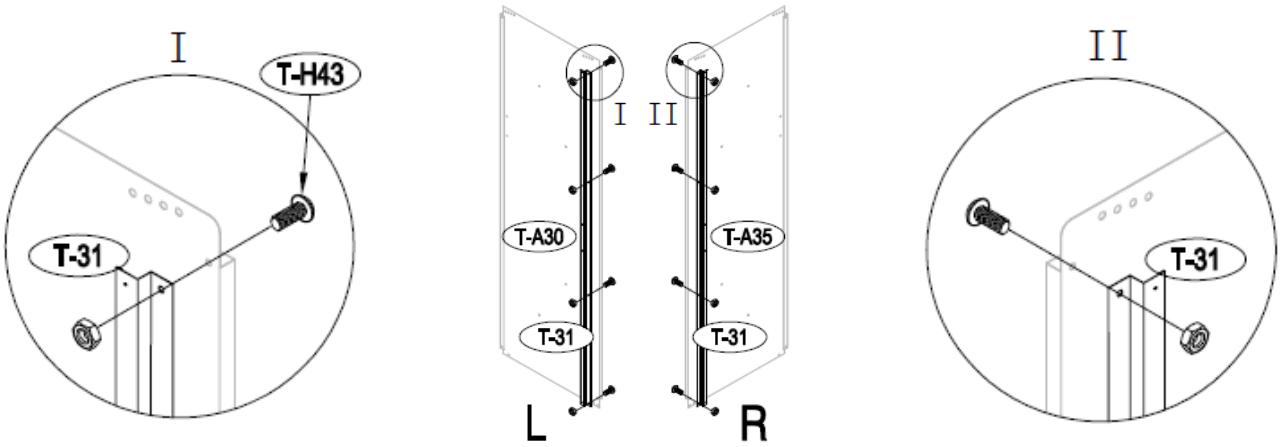
34



次に扉を作成します。まず、部材を準備します。
左側:T-A30、T-31、T-A32　2本、T-A33、T-A34
右側:T-A35、T-31、T-A32　2本、T-A36、T-A37

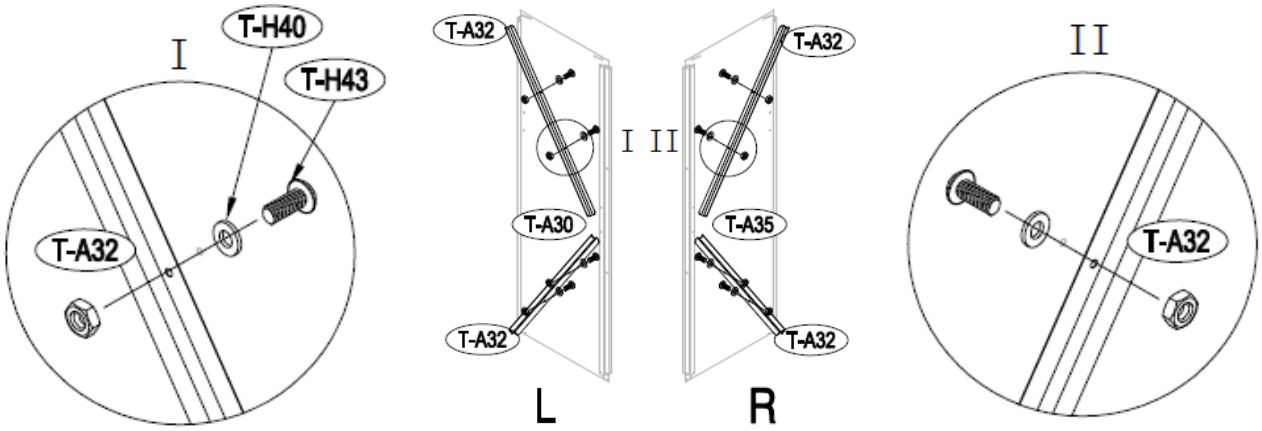
35

1



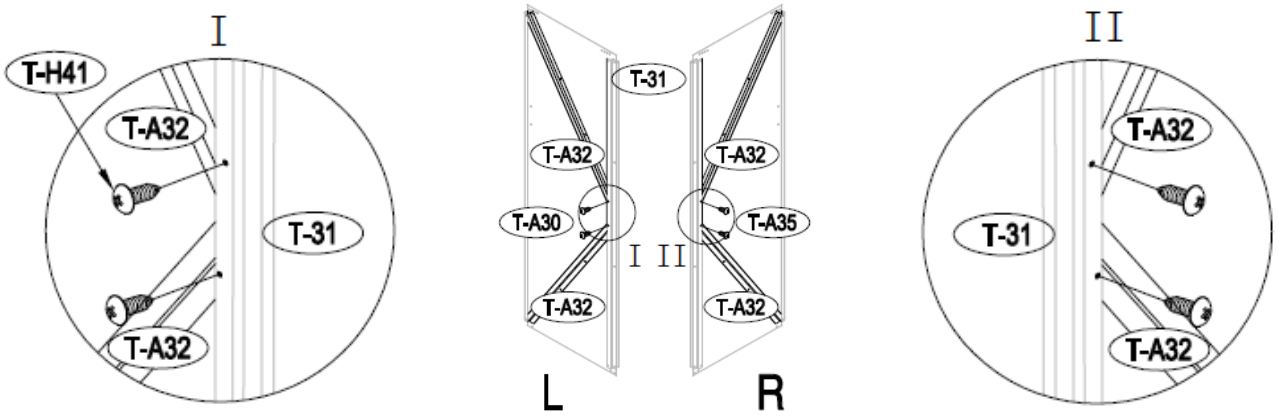
34で準備したT-A30、T-A35にT-31をT-H43で接続します。

36



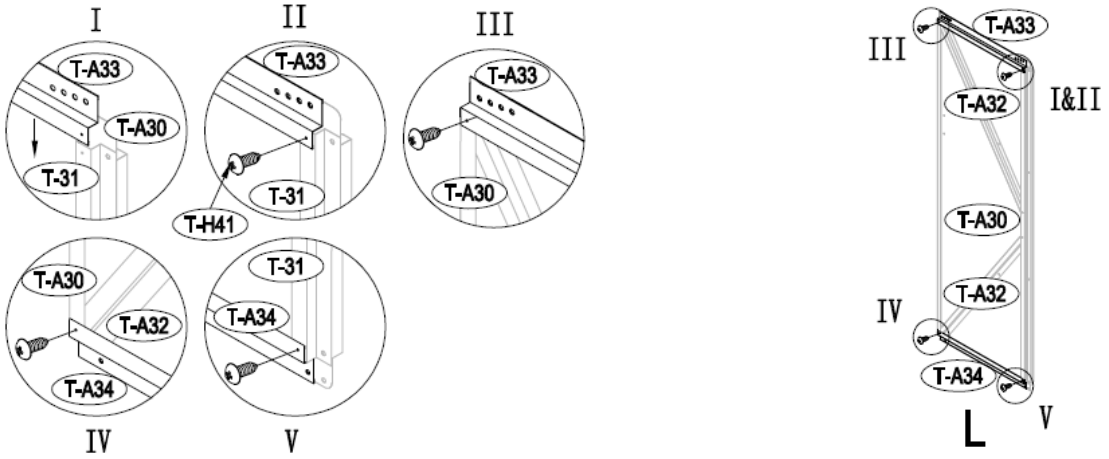
T-A30、T-A35にT-A32 2本をT-H43、T-H40で接続します。

37



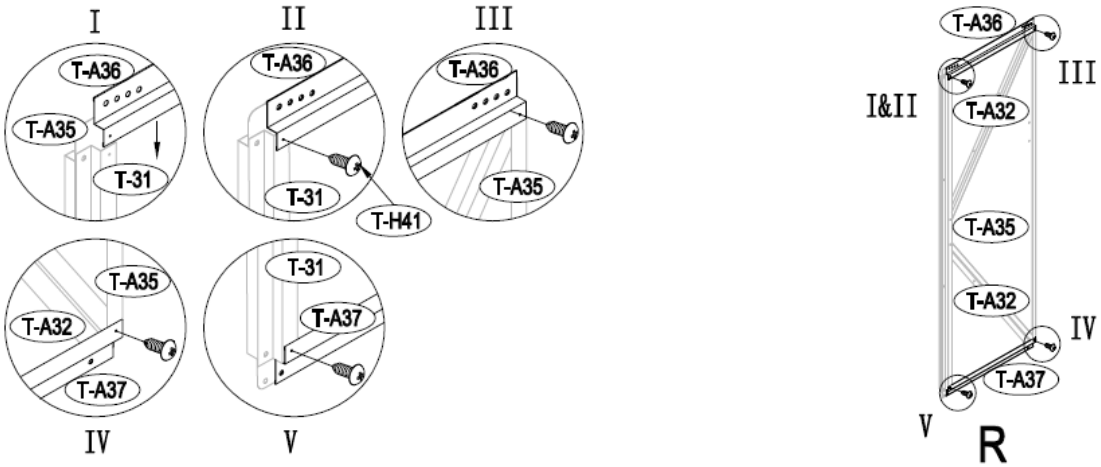
T-A30、T-A35のT-31とT-A32 2本をT-H41で接続します。

38



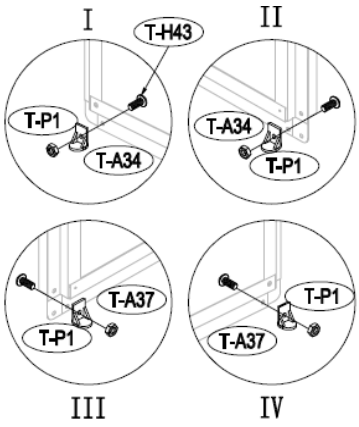
T-A30にT-A33とT-A34をT-H41で接続します。

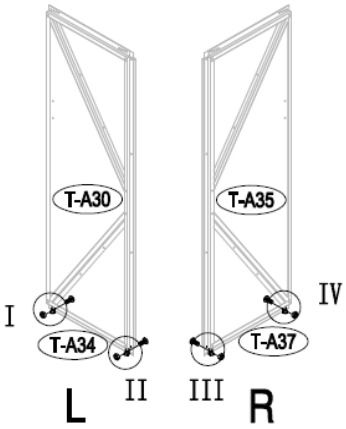
39



T-A35にT-A36とT-A37をT-H41で接続します。

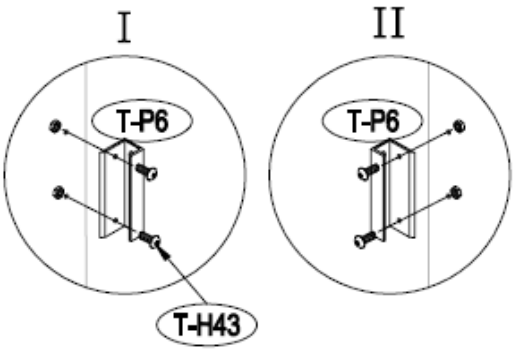
40

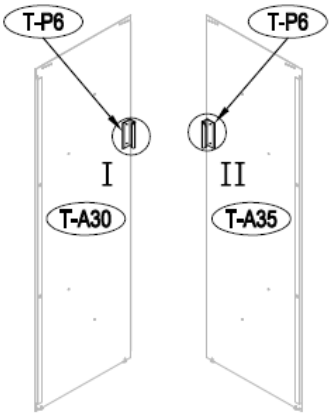




T-A30、T-A35にT-P1をT-H43で接続します。

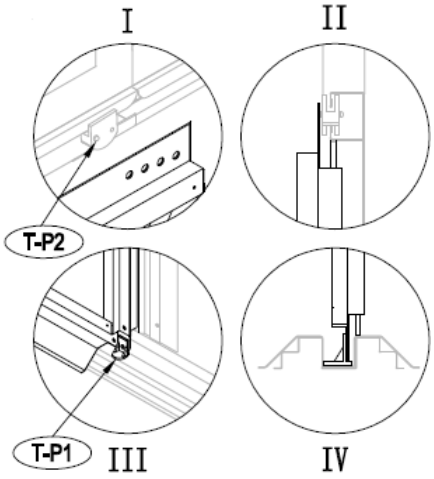
41

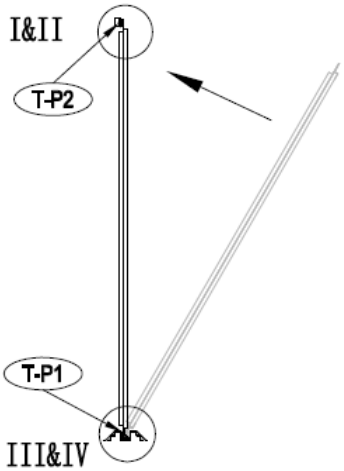




T-A30、T-A35にT-P6をT-H43で接続します。

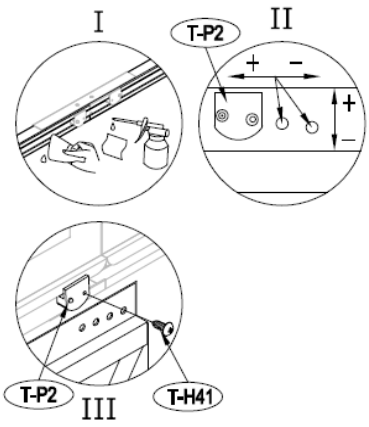
42

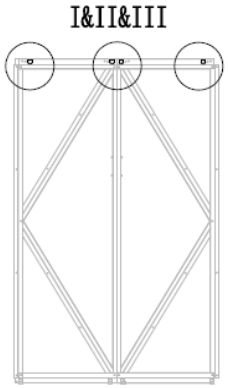




扉を設置します。T-P1部分を図Ⅲ、Ⅳのように接続してから図Ⅰ、Ⅱのように T-P2を接続します。これを右、左どちらも行います。

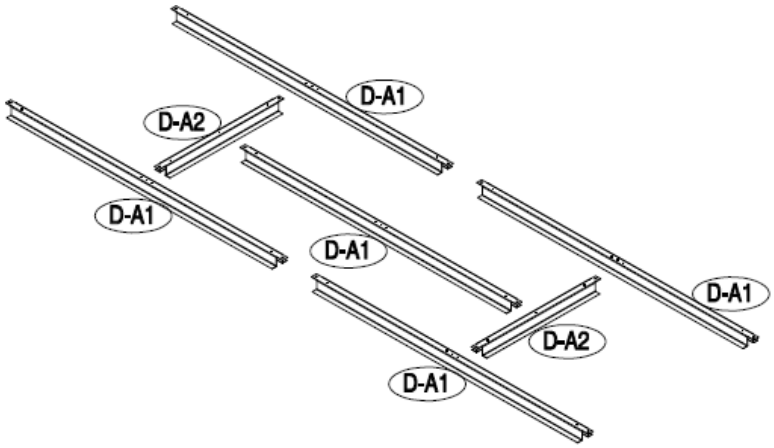
43





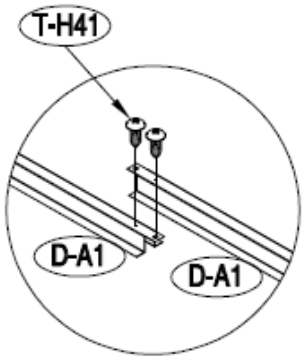
Ｉの図のようにレール部分によく油をさし、T-P2を図Ⅱ、ⅢのようにT-H41で接続します。

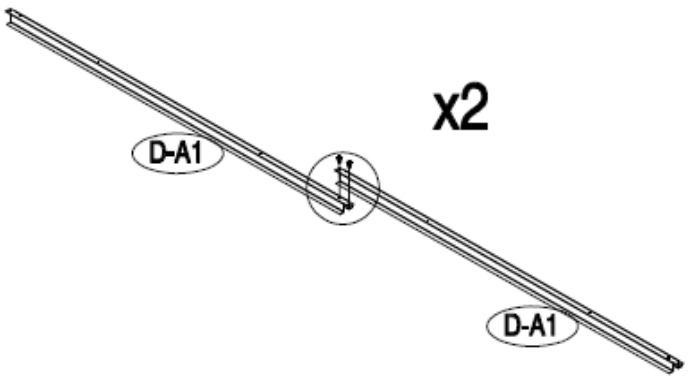
44



最後に基礎の骨組み部分を作成します。
図のように部材を並べます。

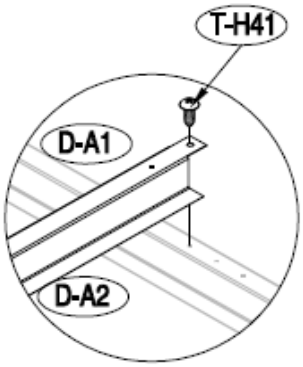
45

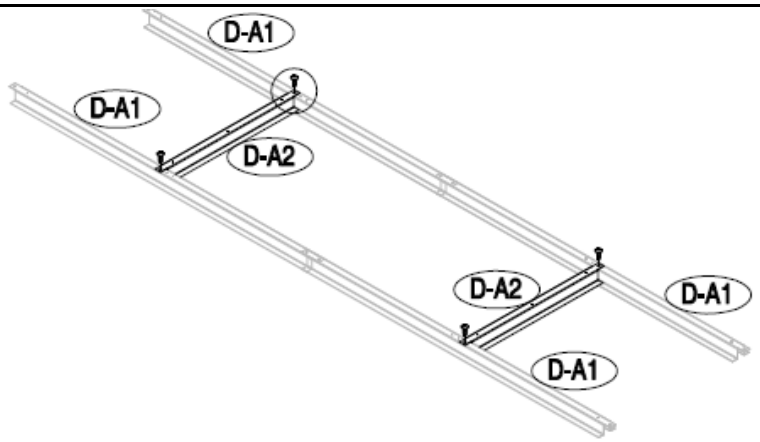




D-A1を2本をT-H41で連結します。

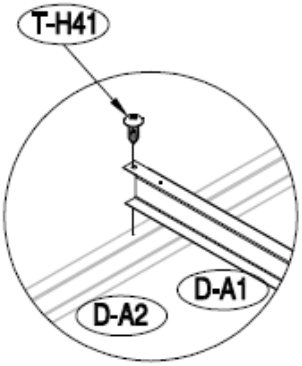
46

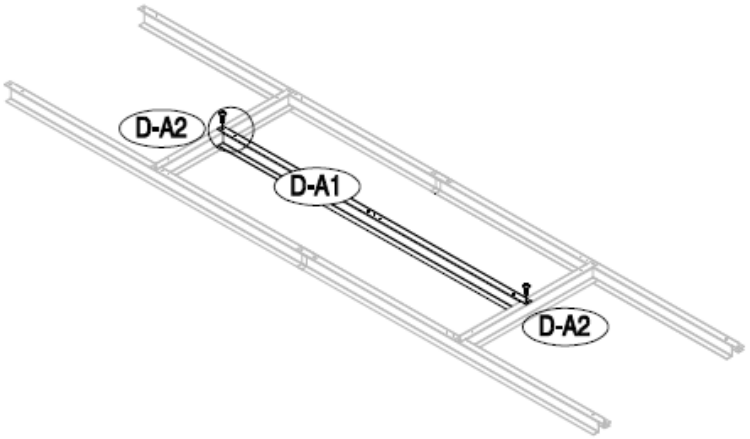




45で作成したものにD-A2を2本T-H41で連結します。

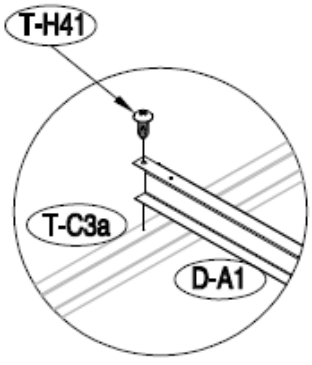
47



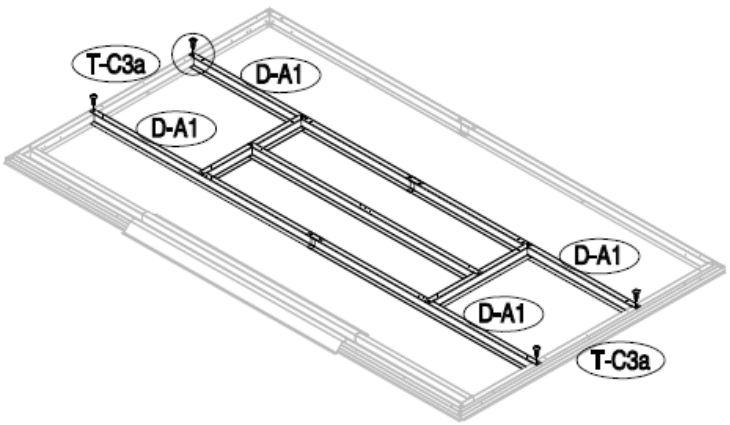


46で作成したものにD-A1をT-H41で連結します。

48



x4



47で作成した骨組みを本体の基礎部分にT-H41で連結して、完成です。